



たなばた

園舎西側のフェンスに添うようにして今年も紫陽花が満開を迎えています。

20年近く前に、卒園児の祖父母様のご自宅のお花を分けて作って下さった花壇です。

春にはつつじが咲き、花びらの整理を終えると紫陽花がふくらみ始め今満開を迎えて道行く人々の足を止めたり、子どもたちはかたつむり探しに夢中です。

毎年このころになりますと、子どもたちは雨の音や雫のリズム、虫たちや咲く花の移り変りを自然の恵みとして受け止め、園庭や公園、ご近所まわりや地域探検のお散歩の折々の発見を身近な楽しみにしてくれています。

また、これも卒園児のおじいちゃんやまが秋のお芋掘りのために、丹精込めて育てて下さっているさつま芋の畑・中川農園への水やりがてらのお散歩も、日に日に育って行くお芋を観察しながら成長への期待と喜びを感じてくれています。

梅雨期にも、合間に見せるお日様の笑顔は、園の外で遊ぶ子どもたちの笑顔そのものになり、「ありがとう」の優しさと共に「元氣」を一層かき立ててくれることでしよう。

7月は待ちに待った「プール開き」から始まります。大好きな水遊びが本格的に始まるのです。

泥んこになったり、水をかけあったり、泳ぎを競ったりする水遊びは、子どもの内的エネルギーの消費と蓄積が同時にできる不思議な力のある遊びです。屋上に組立てた大きなプールで、子どもたちのダイナミックでエネルギーギッシユな遊びがもうすぐ始まります。その場に付き添う保育教諭のひとりを安全監視役として配置し、安全で楽しい遊びが広がるように万全の体制を整えて参ります。

梅雨が明けるまではむし暑かったり、急に涼しくなったり天候・気温・湿度の変化が大きくて体調を崩しやすいのですが、大好きな水遊びに備えて、今から早寝・早起きで始まる生活リズムを大切に、遊びと休息・栄養のバランスをよくして、心身の健康維持・増進に努めましょう。

七夕行事に合わせた短冊制作へのご協力、ありがとうございます。織姫・彦星の物語が夜空への関心を高め、限り無い宇宙への夢がますます広がっていくようにと期待しています。風防室の簾に並ぶ短冊に込められた願いと子どもの夢は希望です。未来です。

ひとりひとりが希望を持ち、明るい未来を信じて美しいものや美しい言葉・美しい自然に感動する穏やかな心を持ち続けて欲しいと切に願っています。

美しい言葉といえば・・・大阪北部地震関連の報道が続いています。

ご存知かと思いますが、松の実後援会野田会長様のお仕事先は大阪です。地震直後、野田会長様のお母様のお言葉を野田ママから伝え聞きました。

あの子は何があっても立ち上がれる子だから大丈夫!!

慈愛に満ち満ち、毅然とした美しい母の言葉です。

こどもの育ちを心底信じられる子育てを、

七夕の短冊に誓いたい

七月を迎えます。

園長 福田孝子